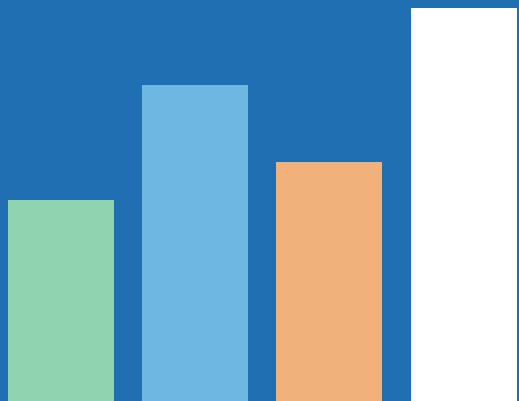


猪名川町教育委員会 学校教育課

2026年6月実施

独自調査



部活動の地域展開に関する アンケート調査 結果報告

生徒アンケート（645名）・保護者アンケート（317名）の分析結果

CONTENTS

01

調査の概要

回答者数・対象校・実施概要

02

生徒アンケート結果

参加状況・満足度・活動評価・今後の希望

03

保護者アンケート結果

参加状況・満足度・課題・支援ニーズ

04

比較分析

満足度の傾向の違いとその背景

05

今後の重点課題と提言

地域展開に向けた3つの方向性

調査の概要

645名

生徒アンケート
回答数（回答率 83.5%）

317件

保護者アンケート
回答数（回答率 41.0%）

2校

対象中学校
猪名川中学校
清陵中学校

2026年6月

実施時期 6月17日～26日
LoGoフォームによる調査

生徒アンケート 回答者内訳

学校別

猪名川中学校 372名（57.7%）
清陵中学校 273名（42.3%）

学年別

1年生 214名 / 2年生 231名 / 3年生 200名

保護者アンケート 回答者内訳

学校別

猪名川中学校 180名（56.8%）
清陵中学校 137名（43.2%）

学年別

1年生 100名 / 2年生 102名 / 3年生 115名

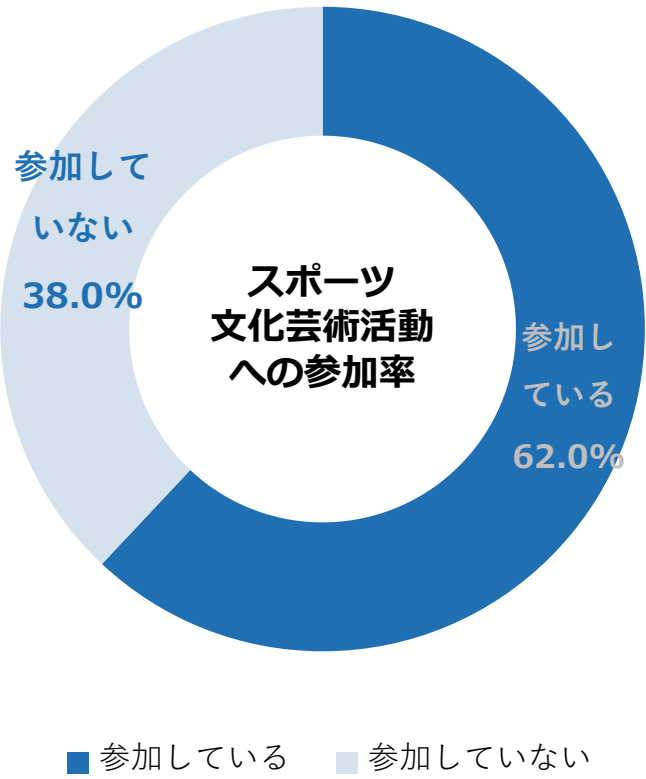
02

生徒アンケート結果

回答数 645名（回答率 83.5%） 参加状況・満足度・今後の希望

約6割の生徒が活動に参加

あなたは、現在、スポーツ・文化芸術活動に参加していますか。※学習塾は含みません。



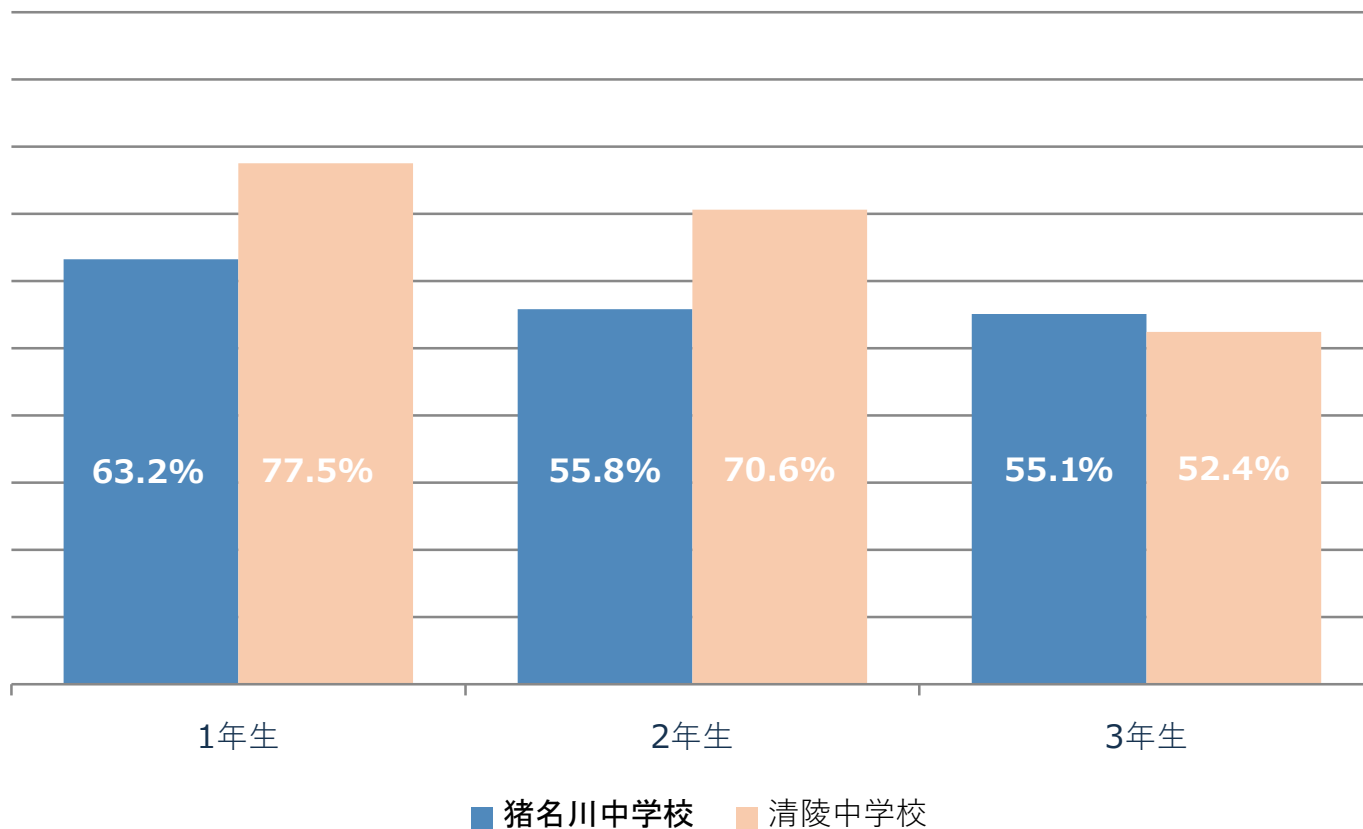
参加している生徒の内訳

活動に所属している	400名	62.1%
認定地域クラブに所属	330名	51.2%
認定地域クラブ以外に所属	70名	10.9%
複数の活動を選択	28名	4.3%

読み取れること

- 約6割が何らかのスポーツ・文化芸術活動に参加する一方、約4割は未参加である。
- 認定地域クラブ以外（民間クラブ等）に所属する生徒も一定数おり、未参加層へのアプローチが今後の鍵となる。
- 複数のクラブに参加している生徒は、全体の1割にも満たない。

学年が上がるほど参加率は低下



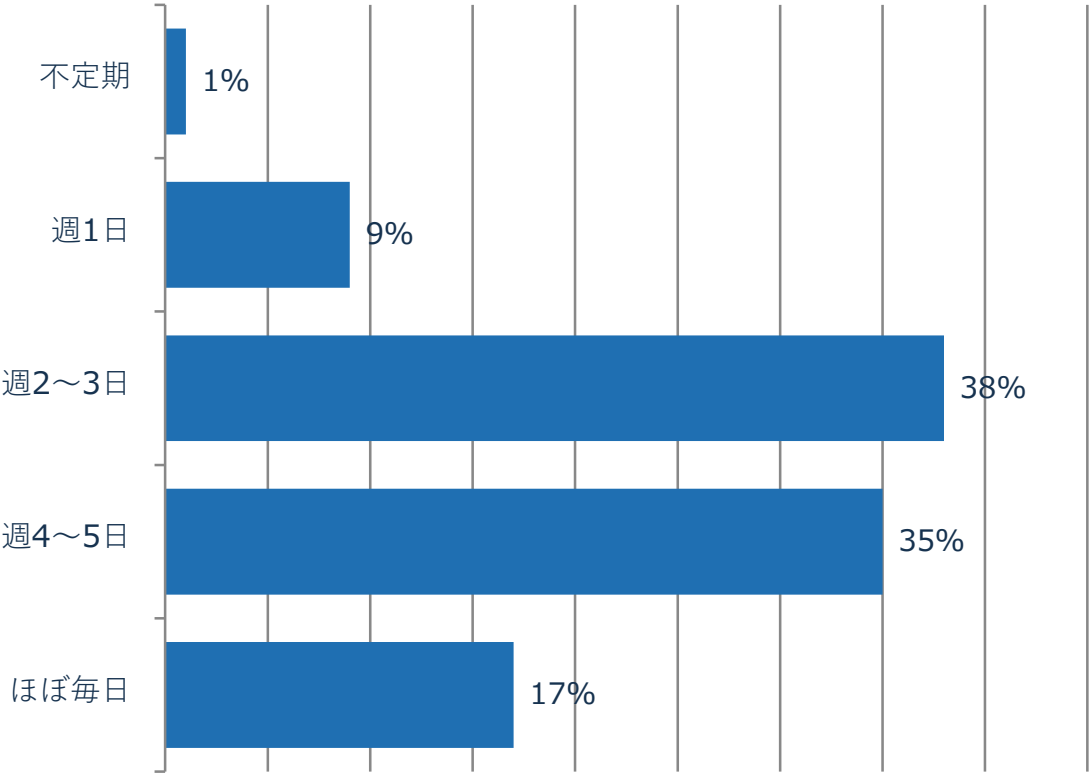
集計から分かること

- 最も高いのは清陵中1年生の77.5%。
新制度への定着が進んでいる。
- 両校とも3年生で参加率が低下。
受験・進路準備との両立が影響。
- 清陵中は1・2年生の参加率が高く、
地域クラブが比較的浸透している。

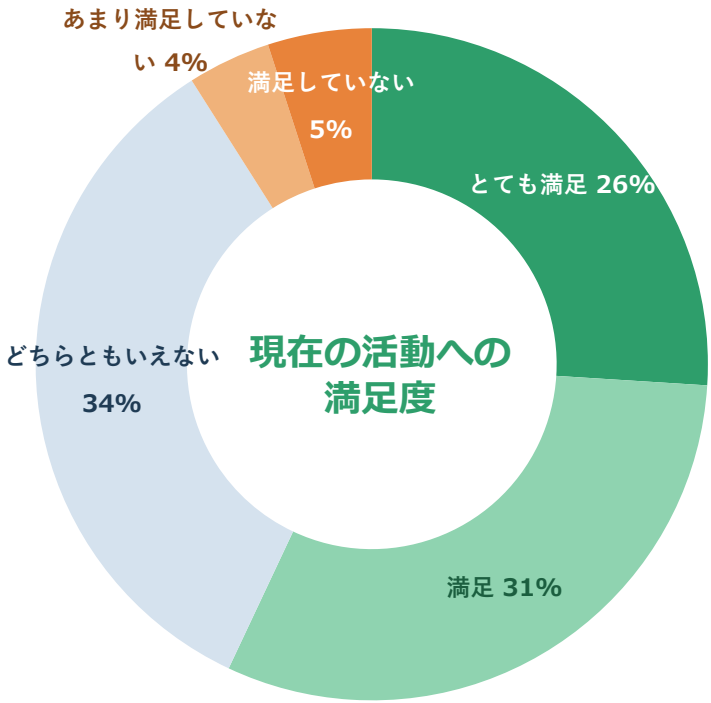
満足層は約6割、中立層も目立つ

あなたは、スポーツ・文化芸術活動にどれくらいの頻度で参加していますか ※学校の授業（体育・美術・音楽）は含みません。

活動の頻度

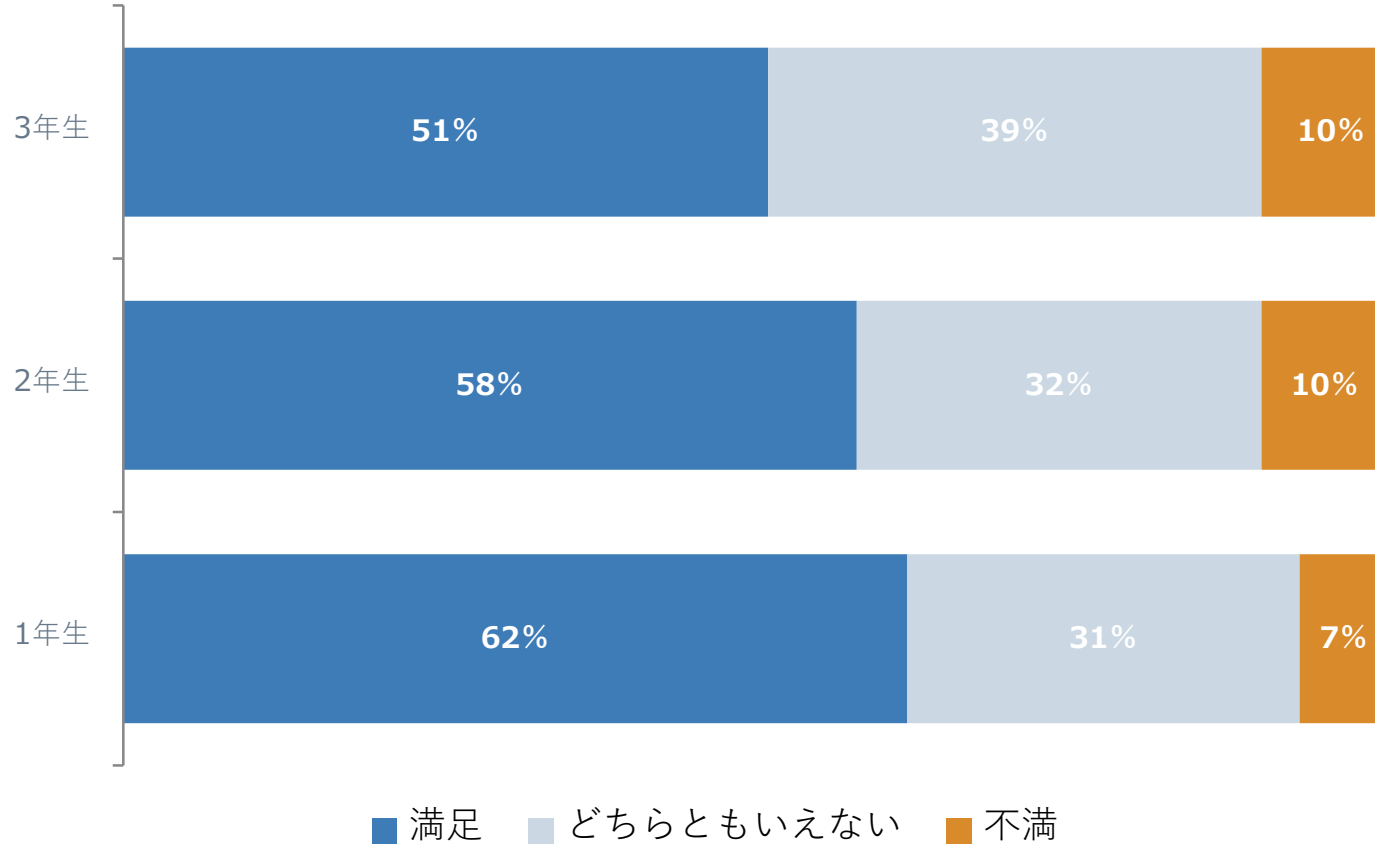


あなたは現在の地域クラブ活動について、どの程度満足していますか



満足（とても満足+満足）は 368名・約57%。
「どちらともいえない」が最多。活動内容・環境に改善の余地。

現在の活動への満足度



57%

「とても満足 + 満足」 = 368名
生徒には概ね良好に受け止められている

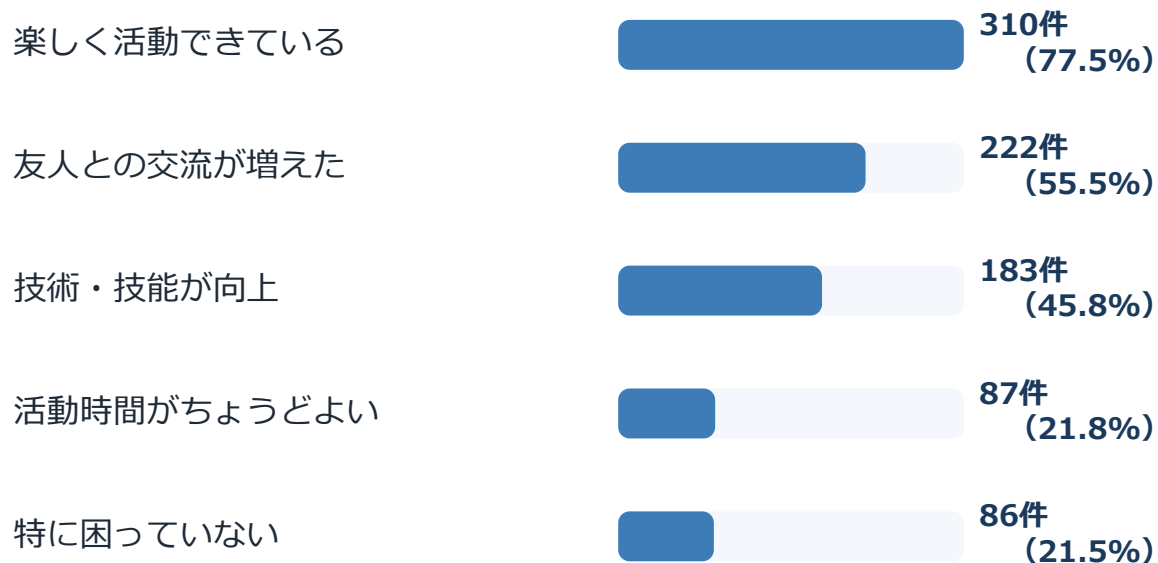
学年が上がると中立が増加

1年生は「とても満足」が最多で新制度に前向き。学年が上がるほど「どちらともいえない」が増え、3年生では最多の39%。部活動との比較の中で、改善の余地があると考えられる。

活動している生徒の評価と課題

あなたは、現在の活動について、具体的にどのように感じていますか。（複数回答可）

よい点（回答の多い項目）



課題として挙げった点



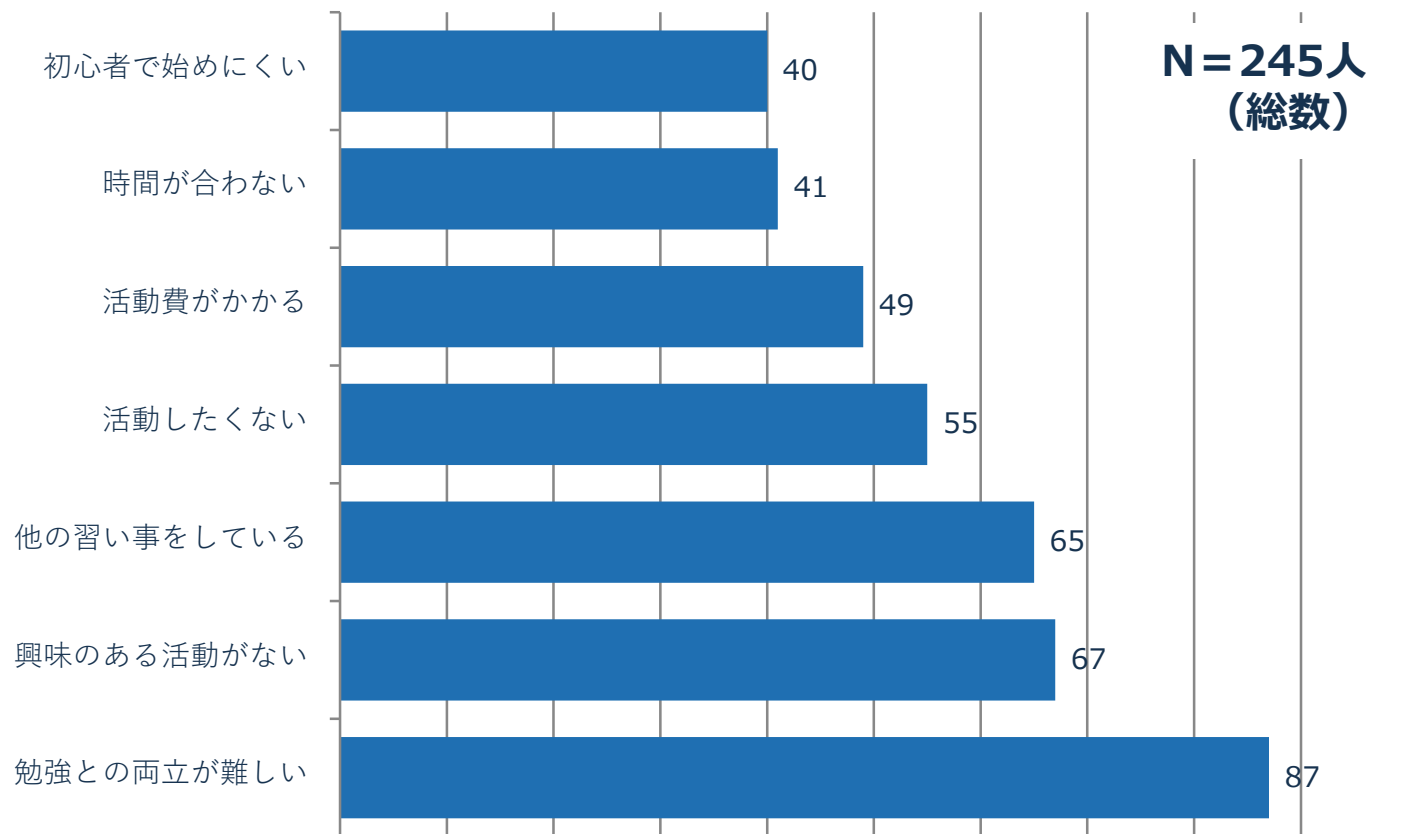
N = 400人（総数）

本来の教育的効果は十分、運営面に課題

「楽しさ」「仲間との交流」「技術向上」という期待された効果は十分に得られている。一方で、活動場所・移動・費用といった運営面の負担を感じている生徒が一定数見られる。

「勉強との両立」「興味ある活動がない」が上位

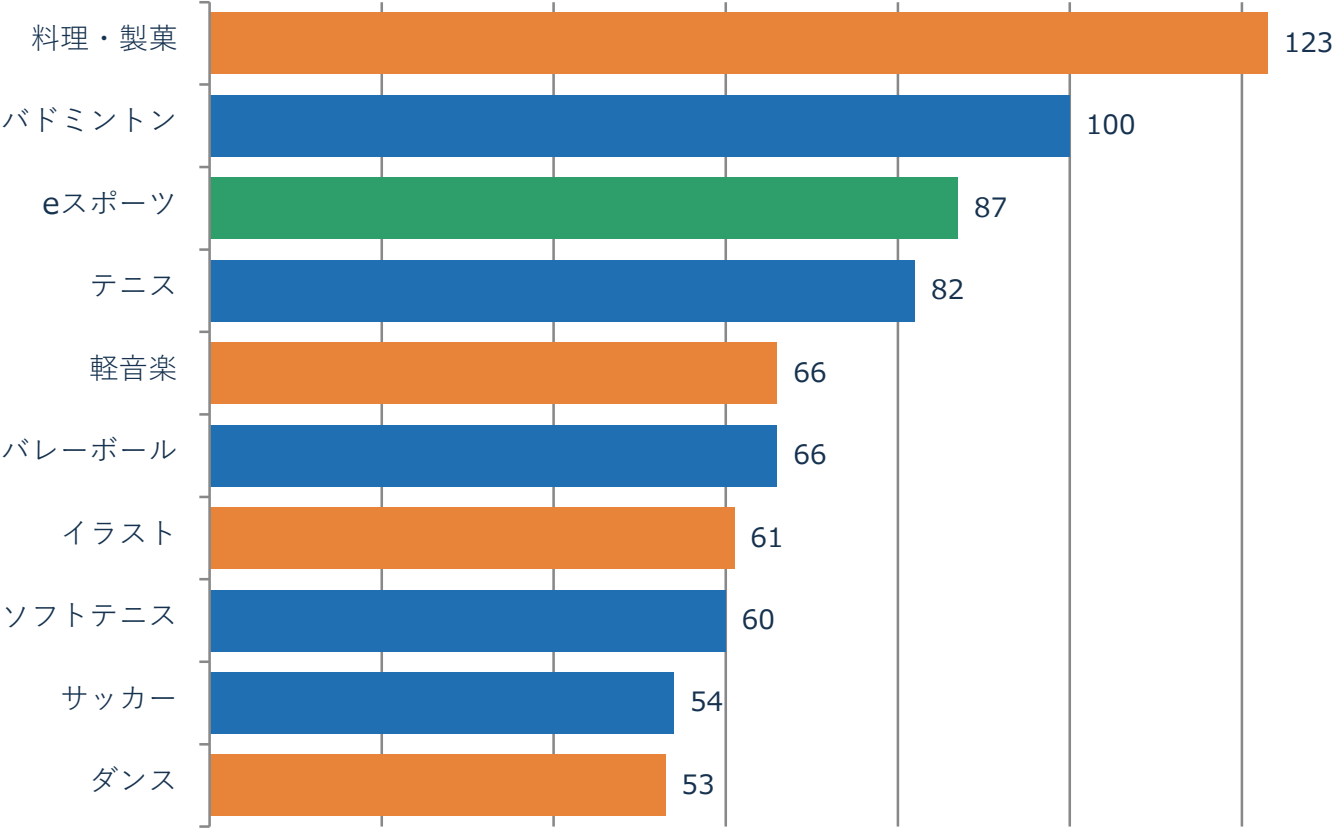
スポーツ・文化芸術活動に所属していない理由を教えてください。（複数回答可）



考察

- 「興味のある活動がない」が多く、多様な種目・文化芸術活動の充実が求められる。
- 「初心者で始めにくい」も40件（16.3%）。この層を取り込めれば参加率向上につながる。
- 3年生では「勉強との両立」が突出し、受験期の負担が影響。

文化・創作・趣味系へのニーズが高い

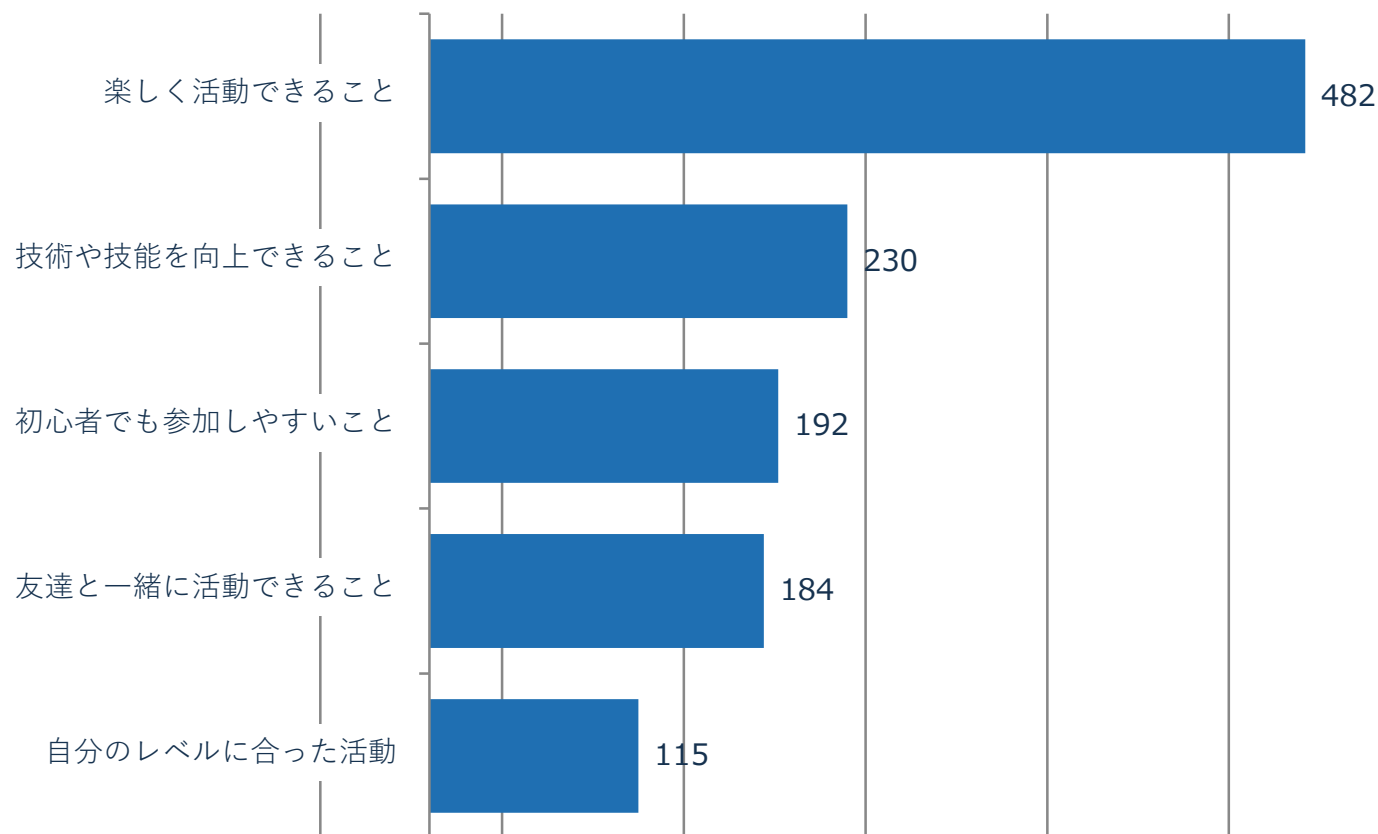


特徴

- 料理・製菓・イラスト・軽音楽・eスポーツなど、文化・創作・趣味系のニーズが非常に高い。
- 全学年共通で「料理・製菓」が1位。従来の部活動では対応しきれなかった分野が上位。
- キャンプやプログラミング、写真など体験型・探究型への関心も見られる。

「勝つこと」より「楽しさ・安心」を重視

スポーツ・文化芸術活動にどのようなことを求めますか。
※あてはまるもの3つまで選択してください。



ポイント

生徒は「勝つこと」よりも、

『楽しい』

『安心して参加できる』

『自分のペースで成長できる』

ことを重視していることが読み取れる。楽しさは
全学年で最も重視される要素。

初心者でも参加しやすい、始めやすい環境づくり
も重要である。

03

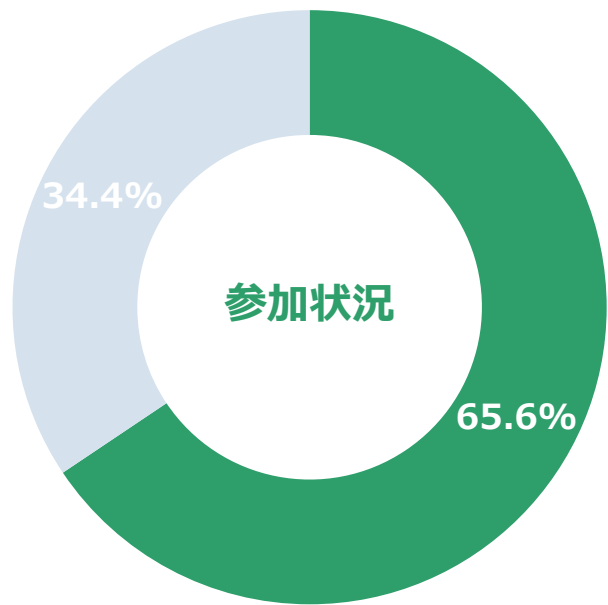
保護者アンケート結果

回答数 317名 参加状況・満足度・課題・支援ニーズ

約3分の2が参加、頻度は週3日以下が過半数

お子様は、現在、スポーツ・文化芸術活動に参加していますか。
※学習塾は含みません。

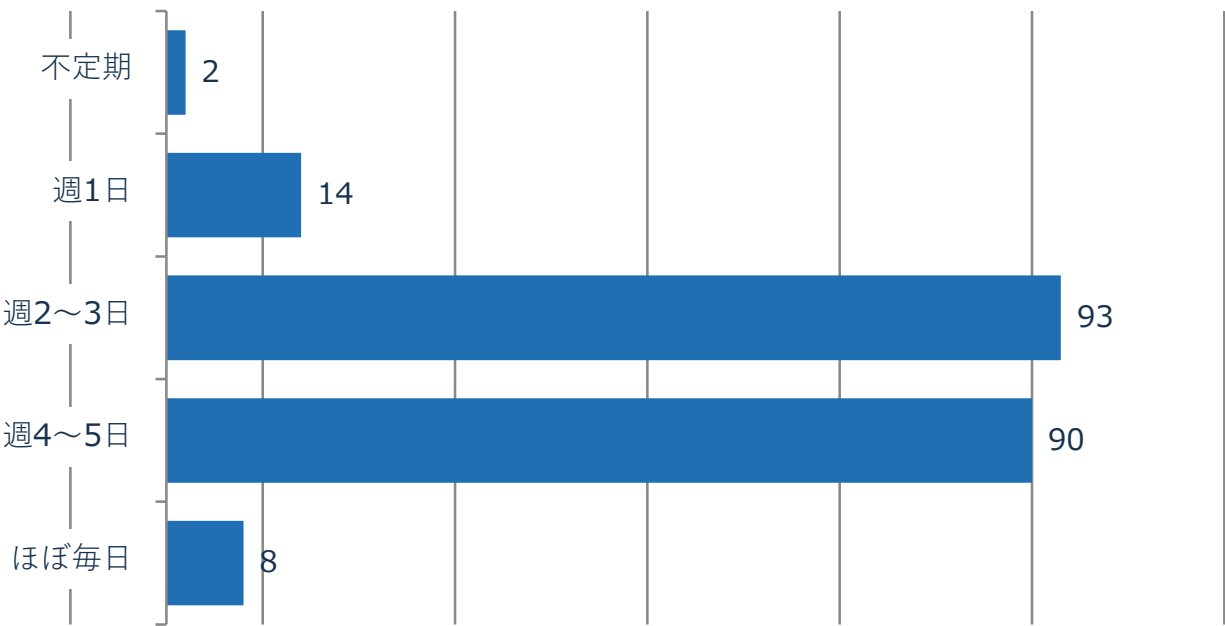
活動への参加状況



■ 参加している ■ 参加していない

お子様は、スポーツ・文化芸術活動をどれくらいの頻度で行っていますか。

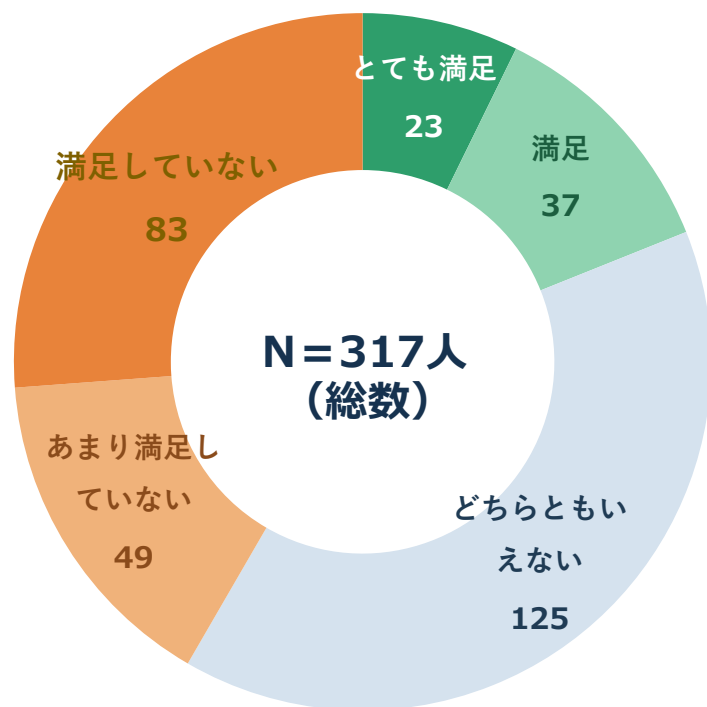
活動の頻度



週3日以下の活動が半数以上を占め、参加する生徒でも週の半分以上は活動のない日がある実態がうかがえる。

満足度はやや低め — 生徒とは異なる傾向

部活動から地域クラブ活動へ展開されて、どの程度満足していますか。

**19%**

満足（とても満足＋満足）
60名

42%

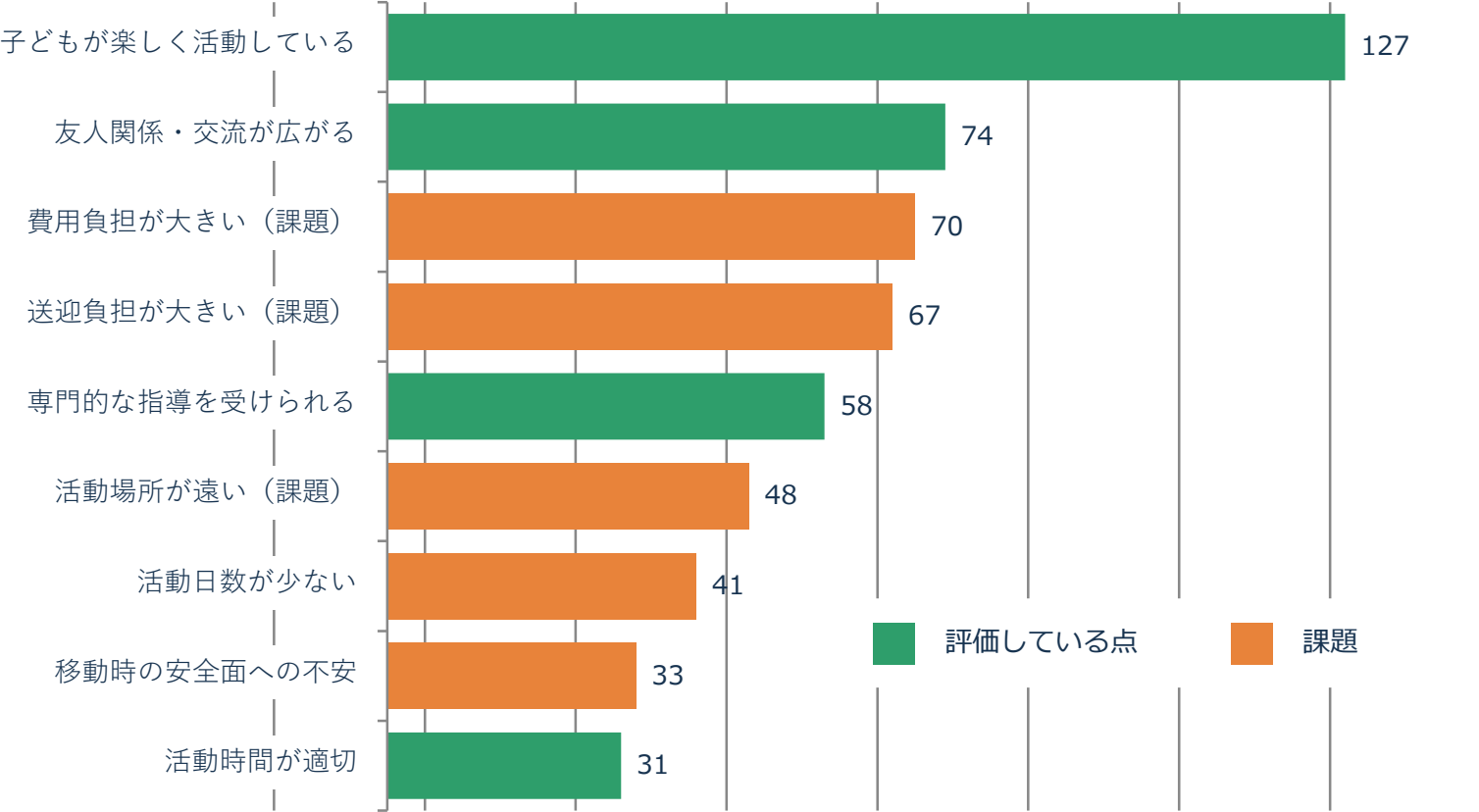
不満（あまり＋満足していない）
132名

生徒との違いをどう見るか

- 「どちらともいえない」が最多（125名）で、不満層は約42%。生徒の満足度（57%）とは対照的な傾向。
- 学校間の差はほとんどない。
- 子どもは楽しく活動できているが、費用負担・送迎負担が保護者の不満につながっていると考えられる。

教育的価値を評価する一方、費用・送迎が課題

あなたは、現在の地域クラブ活動について、具体的にどのように感じていますか。（複数回答可）

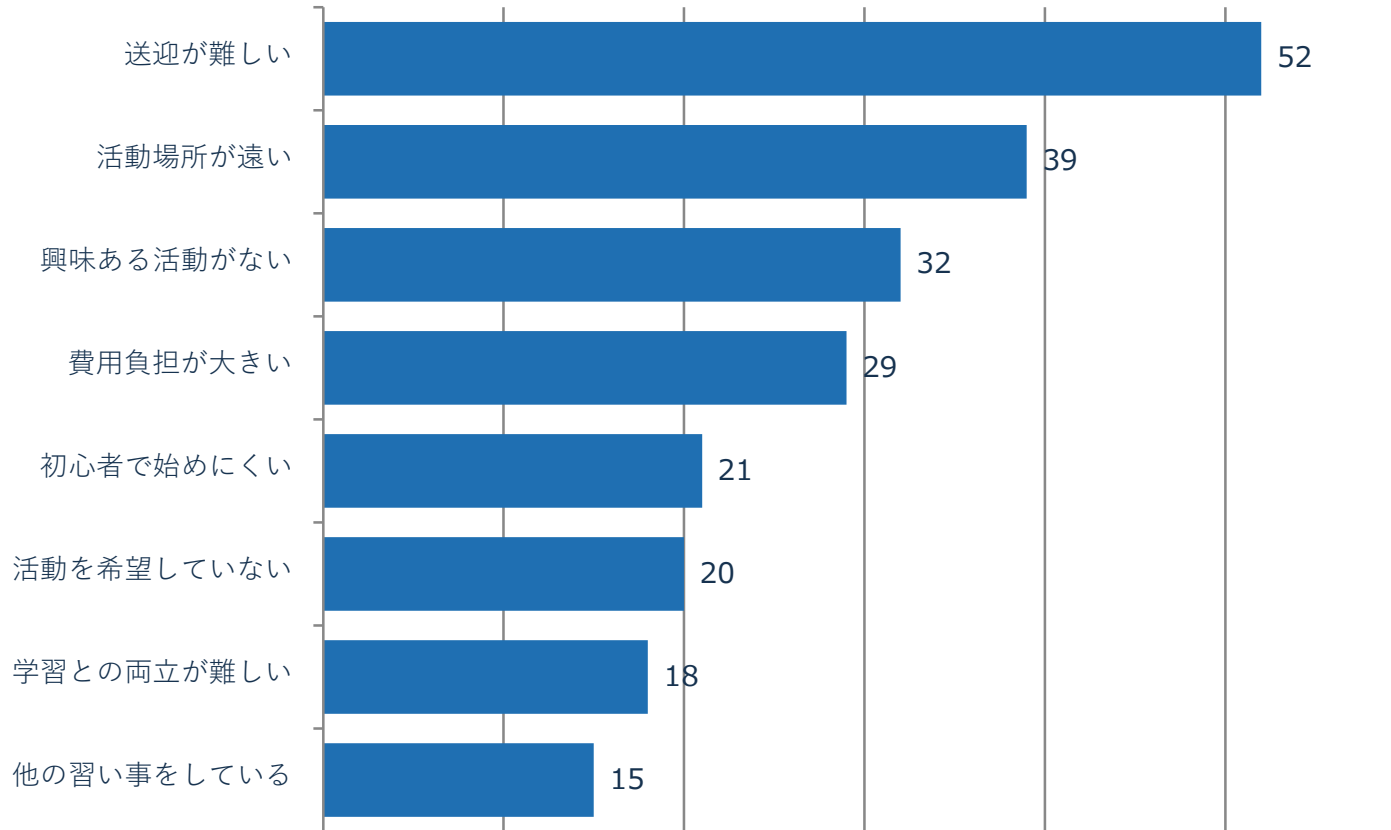


ポイント

- 「楽しそうに活動」「専門的な指導」「学校を越えた交流」に教育的価値を実感。
- 一方で費用・送迎・活動場所を課題とする声が多い。
- 清陵中は前向きな評価が多め、猪名川中は評価が二極化。

「やりたくない」より「通えない」環境面が要因

お子様が地域クラブ活動に参加していない理由を教えてください。（複数回答可）

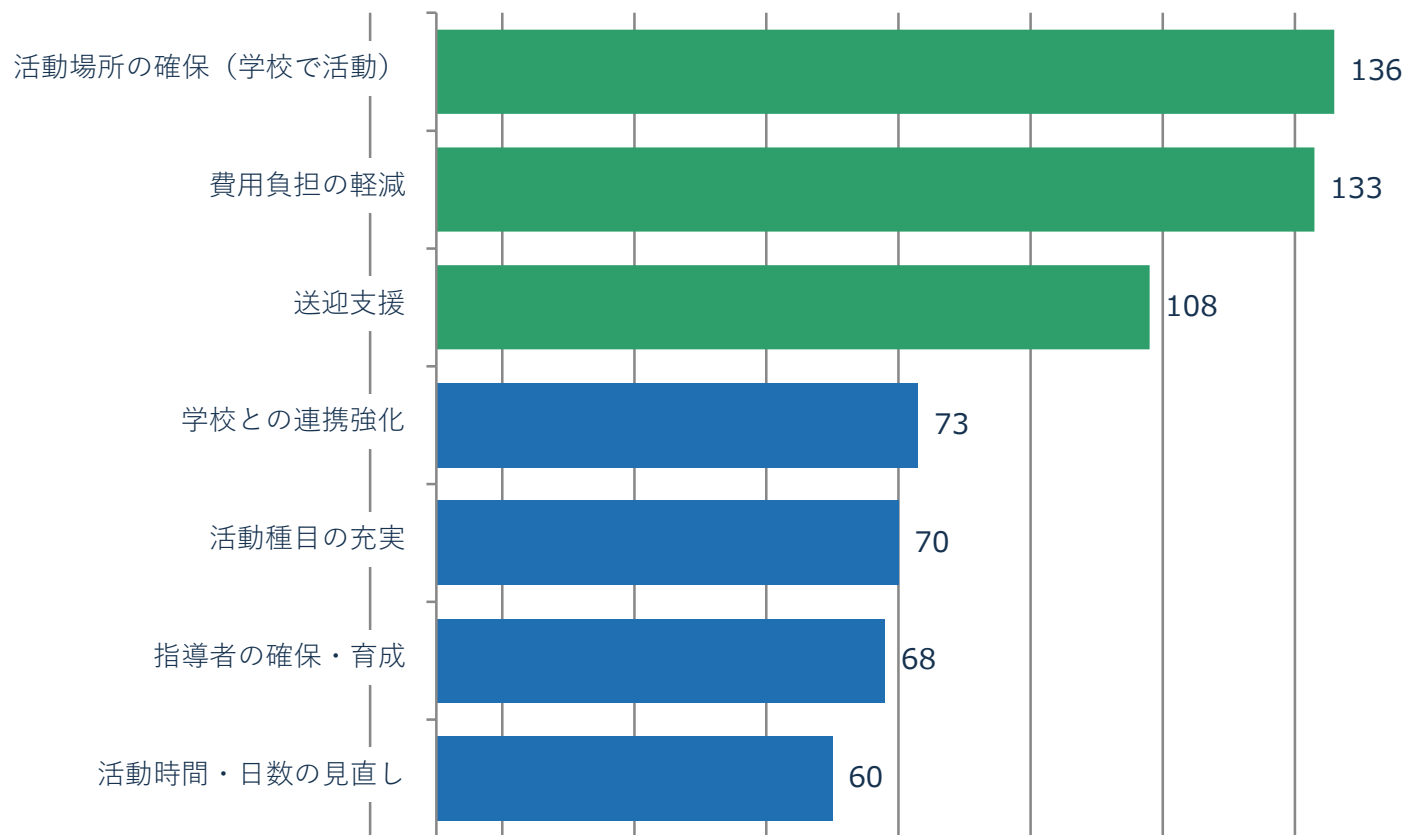


分析

- 「やりたくない」ではなく、「通えない」「送り迎えできない」「場所が遠い」という環境面の問題が大きい。
- 両校とも「活動場所」「送迎」「費用」が参加を妨げる大きな要因。
- 環境改善によって参加者が増える可能性がある。

求められるのは「参加しやすい環境づくり」

今後、充実してほしい活動や支援について ※当てはまるもの3つまで選択してください。



保護者が求めているもの

- ✓ 近くで活動できること
(通学している学校で活動)
- ✓ 費用負担を減らすこと
- ✓ 送迎支援

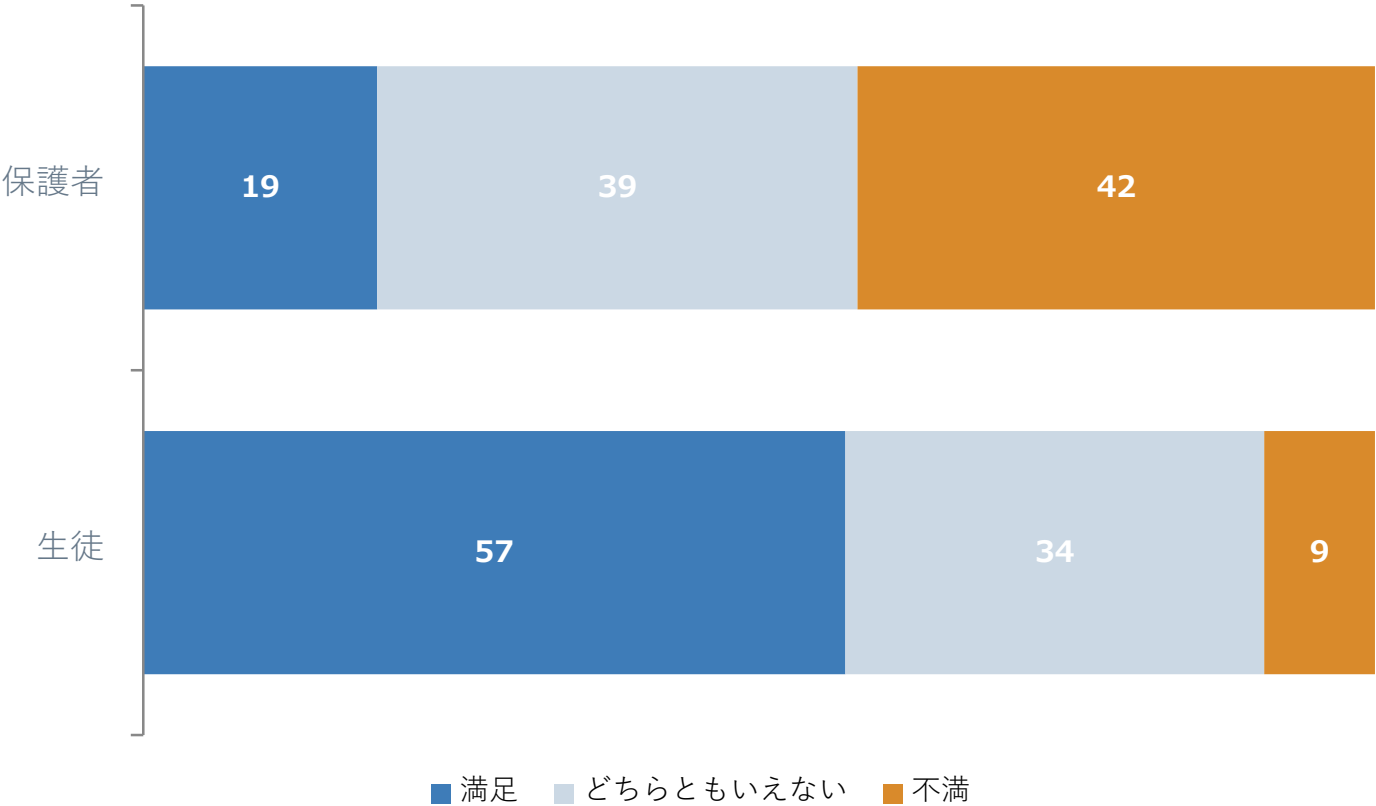
運営内容そのものよりも、「参加しやすい環境づくり」を望む声が非常に多いことが特徴。

04

比較分析

満足度の傾向の違いと、その背景にあるもの
参加率の推移

「子は満足、親は課題感」というギャップ



42%

保護者の「不満」の割合
(生徒は9%・大きな差)

子は満足、親は負担に不満

保護者の満足は約19%にとどまり、不満が約42%と生徒と逆の傾向。

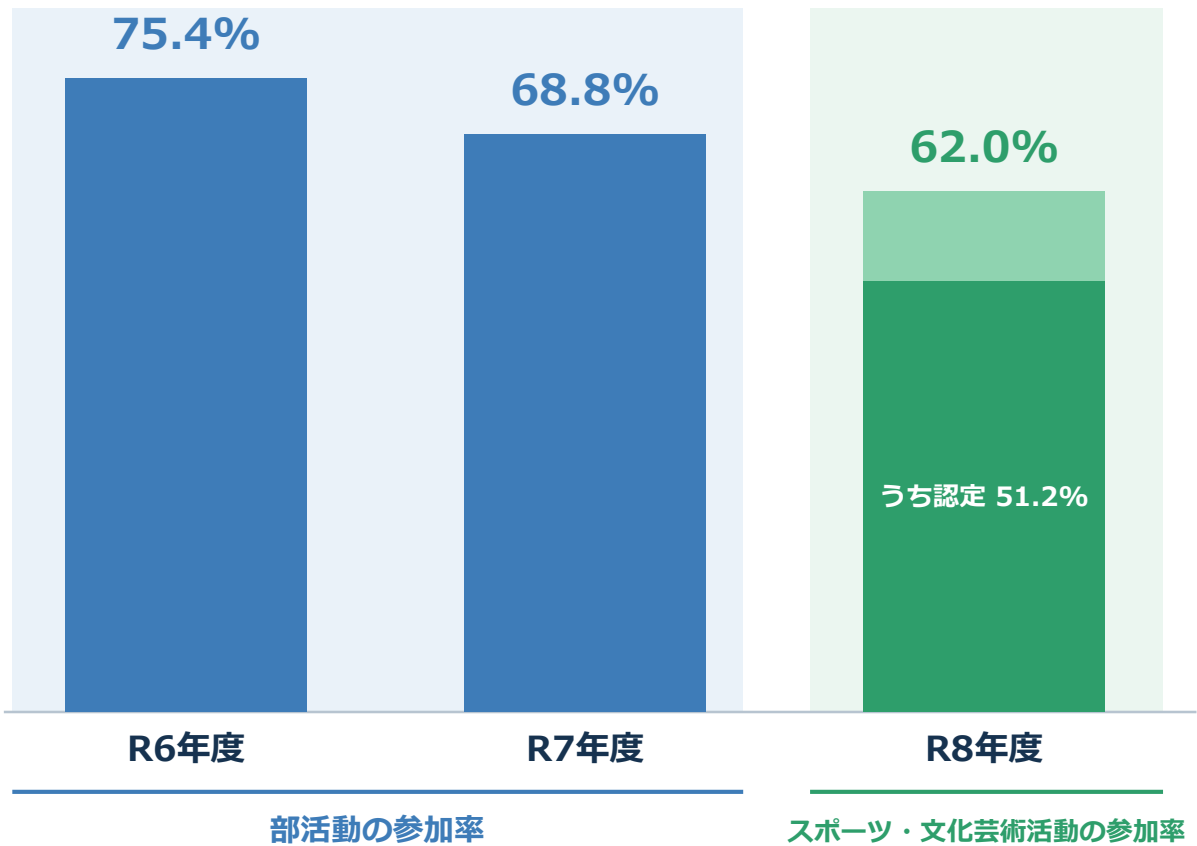
生徒は「楽しさ・交流・上達」を実感し、満足度が高い。

保護者は活動内容は評価しつつ、費用・送迎・活動場所などの負担増を課題と感じている。

「活動の質」と「参加しやすさ」を分けて捉え、後者を改善することが満足度向上の鍵。

参加率の推移と活動区分の変化（R6→R8）

※R7年度までは「部活動」、R8年度からは「スポーツ・文化芸術活動」の参加率です。集計対象が変わるため単純な比較にはご注意ください。



ポイント

■ 部活動の参加率（R6・R7）

※先行実施の地域クラブへの参加は含まれていない。

■ スポーツ・文化芸術活動（R8）

■ うち認定地域クラブ活動所属

参加率は **75.4%** → **68.8%** → **62.0%** と推移。

R8年度から集計対象が「部活動」→「スポーツ・文化芸術活動」に変更。区分が異なるため単純な増減比較には注意が必要。

R8のうち、認定地域クラブ活動所属は **51.2%**。

今後の地域展開に向けた3つの重点課題

1

多様な種目と参加しやすい環境の整備

料理・eスポーツ等の新規種目を充実させ、体験会・入門コースで初心者や未参加層を取り込む

2

活動場所・送迎・費用の負担軽減と学校連携

学校施設の活用・送迎支援・費用軽減で通いやすさを高め、情報提供と連携で地域移行の不安を解消

3

「楽しさ」を軸とした運営

勝敗より楽しさ・安心・成長を大切にし、仲間づくりと技術向上を両立する

今後の取組

1

地域クラブの充実と活動種目の拡充

アンケート結果を踏まえ、地域クラブを充実させ、活動種目の拡充に取り組む

2

初心者が参加しやすい環境づくり

体験会や入門コースを設け、初心者や未参加の子どもが気軽に始められる体制を整える

3

活動場所・送迎・費用などの課題改善

活動場所の確保・送迎支援・費用軽減など、環境面の課題を一つずつ改善する

4

学校・地域・保護者との連携

学校・地域・保護者が連携し、地域移行への不安を解消しながら取組を進める

学校・地域・保護者と連携し、すべての子どもたちが安心してスポーツ・文化芸術活動に親しめる環境づくりを進めます。

部活動が変わる、 未来が広がる。



楽しさ・交流・上達という教育的効果を大切にしながら、活動場所・送迎・費用負担といった環境面の課題を改善することが、生徒の参加促進と保護者の満足度向上につながる。